

しりべしツーリズムサポートニュース



Vol.91

平成 27 年 9 月

「後志収穫祭 2015」初出店は～

仁木マルシェなど新たな企画展開の仁木町観光協会を始め、仁木町から国道沿いに店舗もある「手づくりパイの店 くだもの村」、アスパラスープってどんなのかしら？と興味ある喜茂別から「きもべつ観光協会」、野菜部門では新たに倶知安「hokkaido agriculture Club 頂」、余市道駅で直売所



を展開している「よいち味覚マルシェ」、新たな管内高校の出店として「余市紅志高校」も初出店することとなりました。後志収穫祭の前身、後志セレクションから・・・ありました～！昔の資料が。「後志収穫祭」というネーミングにしたのが平成19年のようです。となると今年は8年目、前身入れて10年はすんだということになります。セレクションが何回したかも不明で（笑）10年前は地域から催事に出向くなんて無かった時代でも有りましたし、管内商品を置いているアンテナショップなどありませんでした。開催当初の目的と役目は終わったな～と思いながらも、秋の気配を感じる頃には事務所所在地を転々と変えているにも関わらず問い合わせを頂きます。

チラシの表面には会場で使用できるお得なクーポンが付いています。「しりべしiネット」の「後志収穫祭」ページのPDFファイルのプリントアウトでも有効ですのでお買い物、飲食にお使いください。（折込は12日、道新、読売に入ります）

「民泊受入をしてみました！」これは“まちとも”作りとしてイケルし、住民が知らず知らずに観光の一端を担う！田舎ほど可能な施策だ！



夏休み保養来道の福島県の小学生の余市宿泊希望が多く、予定の施設では収容しきれないという事態が起こり、地域や住民の活性策にもなるのではないかと「後志交流民泊特区化」を夢想していた事もあり、事例にもなると受入体験してみました。空き部屋利用、

孫世代との交流は楽しく、僅かな潤いまで頂ける。対象は研修旅行生でも、日本人の暮らしを体験したい外国人も良いかもしれない。国も実態調査に動き出すらしい（8/30 毎日新聞）

【編集後記】オリンピックのエンブレル白紙問題で感じた方も居るかも～ですが、ネット社会のサーチ、発信力の高さを垣間見る気がしませんか？STSでも「しりべしiネット」「後志収穫祭2015」のSNSを意識して頑張っていますが、早速、都市圏から問い合わせが来たり反響にびっくりです。収穫祭終了しましたら道駅調査に入りますのでご協力お願い致します（STS維持に稼がねば！）i。

